

# 畿央大学後援会だより

発行：畿央大学後援会  
2011年8月30日  
第6号



## ごあいさつ

畿央大学後援会 会長  
上山 準大

もう「秋」とはいえ、まだまだ暑さの残る日々が続いておりますが、畿央大学後援会会員の皆様におかれましては、ますますご健勝のことと存じます。

さて、子どもたちの夏休みもいよいよ終わりを迎えようとしています。それぞれの学校に、また元気な笑い声が帰ってくるのです。

そんな中、東日本大震災で被災し、故郷を離れ、新しい生活の場を各地に求めた子どもたち(もちろん、現地に残って生活している子どもも含めて)は、どのような思いで、新学期を迎えるのでしょうか。

家族を失い、それでも必死に頑張っている子。住む家を無くし、これからの生活が見えない子。心に傷を負いながらも、なんとかふんばっている子……。

大人の方であってもそのつらい気持ちはかわらないと思います。しかしながら、こんな子どもたちの笑顔に励まされ、その未来を信じ、皆が頑張れるのだと思います。

子どもは社会の「宝」であります。私たちも、将来の社会を担う子どもたちに対して胸を張れる生き方をしたいものです。

最後に、この「後援会だより」の編集にご協力いただきました関係者の皆様に御礼を申し上げ、ごあいさつといたします。

## 会員のみなさまへ

学校法人冬木学園 理事長  
畿央大学 学 長  
冬木 智子



ここ大和の桜井の地において恒例の夏季花火大会が盛大に実施されました。暮れなずむ夏の夜空に大輪の花が一面にひろがり、つづく強い余韻のどろきと共に一瞬にして消え去る様はまさに感動の一コマでありました。今年思いがけず近くの卒業生夫婦が訪問して下さい、自宅の庭にて、ご持参の手作り弁当をひろげての楽しい夕餼となりました。次々にスルスルと打ち上げられる花火の音につれその瞬間夜空一面に開花する花火の色を見上げ、ご主人が「先生、学園のカレアの花ですネ。」とおっしゃった一言に、私はこみ上げる感動を覚えたのであります。

冬木学園の精神の真髄は卒業生の家族にも浸透していることをしみじみ感じた一瞬でありました。

きくところによると、あの一発の花火の材料にも、色彩や構成デザインにも年々工夫を重ねて努力されているとのこととあります。東の間に消えさる花火にも人の生命に思いを馳せるとき、人生の長短は別にして人として生まれてきた甲斐があったと思わせられる感動を次世代に伝えられればと願うばかりであります。保護者の皆様方にはお子様を通じて、畿央大学との出会いがあり、「徳をのぼす」「知をみがく」「美をつくる」の建学の精神を具現することこそ、「我れ生けるしるしあり!」の感動を共有して頂けるのではないかと改めて強く期待申し上げる次第であります。

後援会の皆様方のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げ、変わらぬご支援をお願い致しましてご挨拶とさせていただきます。



## 教員と学生との間の信頼関係の確立

健康科学部長・健康科学研究科長 金子 章道

畿央大学後援会会員の皆様からは、本学の教育に対し日頃より深いご理解と多大なご支援を賜り深く御礼申し上げます。本学教員は建学の精神のもと、一丸となってご子弟の教育に当たっております。

教員として最も重要なことと私がいつも感じておりますことは、学生との間に確固たる信頼関係を築くことです。学生が教員を信頼し、また教員も個々の学生を信頼し、裏切らない——この関係が出来上がって初めて充実した教育ができるのだと考えております。信頼されている先生の授業では私語をする学生も少ないし、学生はしかられてもその先生の叱責は反抗することなく素直に受け入れるのだと思います。教員も学生も自律した人格を持ち、大人同士として接することによってこの信頼関係が醸成されます。

どうか今後とも会員各位のご理解とご協力を切にお願いいたします。

## 50年先を見据えて

教育学部長 白石 裕



畿央大学は、開学して10年という浅い歴史にもかかわらず、社会から高い評価を受ける大学までに成長・発展しています。これも後援会の皆様のご支援あつての賜物と深く感謝申し上げます。

本学が、今後、20年、30年、さらには50年の長きにかけて発展し、わが国の高等教育機関のなかに確固たる地位を占めるような大学になるように願っております。わが国の大学史を紐解くと、大学が長きにわたって発展するにはいくつかの要因があることが分かります。私立大学に限って言えば、その要因とは、確固たる建学の精神であり、研究・教育体制の充実であり、さらには時代の変化を読み取る大局的な判断と対応であり、そしてそれらを通しての人材の輩出ではないかと思えます。大学史を教訓にしながら、建学の精神を基調としつつ、本学ならではの成長・発展を目指すべく、その礎石を今のうちに築いておくことが必要ではないかと考えております。

ごあいさつ	P1	人間環境デザイン学科	P7
後援会総会・保護者懇談会	P2	教育学部 現代教育学科	P8
健康科学部 理学療法学科	P4	担任からのコメント	P9~13
看護医療学科	P5	保護者アンケートのご報告	P14~15
健康栄養学科	P6	授業日カレンダー 畿央祭	P16

# 平成23年度

## 後援会総会を開催

7月9日(土)午前、本学E棟104PC講義室において平成23年度後援会総会を開催しました。総会に先立って開催された役員会では、お子様の学生生活の様子や大学への要望、期待などが交流され、今年度の後援会の活動の中で保護者の畿央祭への参加や後援会総会の充実を図ることなどをはじめ、大学の施設設備の充実や奨学金への補助の強化などを盛り込んだ総会議案が確認されました。

総会では、はじめに役員会を代表して上山会長、つづいて顧問の冬木学長からご挨拶をいただきました。その後、議事に入り、平成22年度の事業報告、監査報告を審議し、承認されました。つづいて、平成23年度事業計画、予算案が審議され、承認されました。今年度の事業計画・予算では、教室環境の改善、奨学金への補助の充実による畿央大学特別奨学金の定員4名増、国家試験対策の充実等に対する助成の強化と後援会

の独自活動の充実をはかることなどが盛り込まれました。役員会の改選では、役員会で推薦された10名の新役員が選出されました。

また、大学から、学園と大学の財政状況、事業計画の報告がされ、あわせて保護者アンケートの結果についての中間報告がされました。

本年度の後援会役員は別表のとおりです。

会員の皆様のご協力を得ながら活動を進めていきたいと決意を新たにしています。

### 畿央大学後援会とは

畿央大学後援会は、畿央大学の学生の父母または保証人をもって構成される団体です。学生の教育や厚生に必要な施設設備の充実、研究活動やクラブ活動などに必要な援助を行うことによって子どもたちの学生生活の充実と畿央大学の発展に貢献することを目的としています。また、会員相互の連携をすすめるとともに大学と父母または保証人をつなぐ役割を担って、保護者懇談会や広報の取り組みをすすめます。

### 懇談会・懇親会に寄せられた声

#### 理学療法学科

- 同じ学科でも進路先は様々のようで、医療、福祉、保健関係、対象の患者さんも老人、幼児、スポーツ選手と大きく異なるようです。自分に合った道を見つけ出す為、なるべく多くの経験をし、考える機会を与えてやって下さい。
- 学科説明会では、理学療法について細かく説明して頂き、大変分かりやすかったです。国家試験合格に向けて、新たな対策を考えて下さっていることが分かり安心しました。
- 大学でのこの様な懇談会がある事に驚き



学科説明会(理学療法学科)

と感謝です。他の学年の方の話や先生方のお話が聞け、大学がより身近なものに感じられました。独特の個別カリキュラムで他大学に負けない様な素晴らしい大学にして頂きたいと願っています。先生方の情熱が必ず子ども達に届くと思います。

- 先生方とお話ができて、学校での子供の様子などが分かってとても良かったと思いました。

#### 看護医療学科

- 講演会、学科別説明会など、保護者にご配慮いただき誠にありがとうございます。また、個別に担任の先生とゆっくりお話をうかがうことができ、とても良かったです。
- まだ1回生ですが、卒業後のことが少し気になっていたのですが、国家試験の話や資格取得の話が



講演会

聞いて良かったです。学長のお話は私自身が生徒のような気分で聞かせて頂きました。

- 畿央大学のアットホームな感じが冬木学長を中心としてとてもよくわかる会だったと思います。他大学(息子が別の私立大学ですが)にはない校風が素晴らしいです。来年もお願いします。
- 学科説明会は参考になりました。4回生でもあり、来春の国家試験が気になりますが、対策模試等予定していただいておりますが、適宜相談会も考えて下さい。宜しくお願いします。

#### 健康栄養学科

- 学科別説明会や懇親会で大学のことが良く分かり、学びやすい大学だなと思います

# 第6回 保護者懇談会・懇親会を 開催しました。



懇親会

7月9日(土)午前中の後援会総会に引き続き、午後には、平成23年度夏季保護者懇談会が開催されました。この保護者懇談会も今年で6回目となり、梅雨明け直後の

とても暑い日でしたが、各地から240名の保護者の方がご参加されました。

全体会は、冒頭の冬木学長、上山後援会会長の挨拶につづいて、健康科学部看護医

試験、教員採用試験対策の計画、普段の学生生活の様子などについての報告・説明が行われました。

その後、個別相談会や学内の見学会が行われ、ひきつづき食堂棟で懇親会が開催されました。懇親会では学科ごとのテーブルで教職員と保護者の方の和やかな懇談が繰り広げられ、学生の大学生活や家庭での様子、就職のことなど色々な情報交換が行われたようです。

学科別説明会や懇親会を通して、学生と教員の距離がとても近い大学ということを感じ取っていただき、有意義なひと時を過ごしていただいたようです。これからも保護者の皆様のご意見を参考にし、より有意義な保護者懇談会を実施していく予定です。今後も多くの保護者のみなさまのご参加をお待ちしています。



全体会

## 懇談会・懇親会に寄せられた声

した。

- 懇親会では先生方の丁寧な対応に感謝しております。また、少人数制のため、先生方が学生一人ひとりをよくご存知でびっくりしました。今後ご指導のほどよろしくお祈りします。
- 懇談会に参加させて頂いて、大学の様子等よく分かり、安心致しました。いつ伺っても、先生や学生さんが親切に対応して下さい、感謝しております。
- 今日はありがとうございました。大学での様子、就職活動、資格についても、普段理解できないことがよく分かりました。参加して良かったと思います。

した。ありがとうございました。

- 学科別説明会の時間をもう少し長く取って頂けたらと思いました。キャリアセンターの方もお話させて頂きたいので相談会的な機会があれば嬉しく思います。有意義な時間をありがとうございました。



学科説明会(現代教育学科)

### 人間環境デザイン学科

- はじめて参加しましたが、大変有意義で



個別相談会

### 教育学部現代教育学科

- 大きな大学とは違う、小規模ならではの良さがとてもいいと思いました。
- 従来の大学のイメージとは異なり、開かれた新しいスタイルの大学ではないかと思えます。就職(教職等)に強い大学として、そして卒業後社会人として活躍する学生を輩出する大学として大いに期待しています。
- 畿央大の先生方は本当にいつも細かいご配慮を下さっており、頭が下がる思いをしています。いつも本当にありがと

うございます。

- 入学当初は滑り止めで出願した大学だったので、本人は行く気がせず、「大学を受け直す」と言っていたわが子が、1回生から大学祭実行委員会に加わり、先輩や学友に恵まれ、しだいに充実した日々を送るようになりました。今年も責任のある立場を任せてもらい、クラブ・サークルと活躍しているようです。インターンシップや英語onlyの授業など頑張っているようです。学生生活を充実させているわが子を見て、きっと畿央大学には大きな魅力があるのだと感じています。ありがとうございます。

# メッセージ

理学療法学科  
学科長  
庄本 康治



保護者の皆様には、日頃より本学科の運営、教育にご理解とご協力を賜り、感謝申し上げます。

理学療法士及び作業療法士法は1965年に公布され、46年経過しましたが、理学療法

士を取り巻く環境は大きく変化しています。ところで、理学療法士の仕事は厚生労働省が告示した「診療報酬」という対価として示されます。理学療法士などが患者さんに治療すると、その対価を点数で示しますが、1点が10円になります。この診療報酬は、医師、看護師、その他の医療従事者の医療行為に対する対価である技術料、薬剤師の調剤行為に対する調剤技術料など多岐に渡ります。保険診療では患者さんはこの一部を窓口で支払い、残りは健康保険で支払われます。1976年に理学療法士でなければ診療報酬を請求できない項目が新設され、それ以降は理学療法に対する診療報酬は高い評価をされていました。ところが、2006年に理学療法のみならず、医療行為全体の診

療報酬が大幅な引き下げとなりました。病床数減少も含め、医療費抑制政策が進められていますが、経済的原因のためであり、決して我々の必要性が軽視されたためではありません。

理学療法士養成校数も雨後の筍でしたが、ここ数年は定員割れを起こす専門学校が急増しています。平成23年の国家試験の全国合格率も急落しましたが、理学療法士も、今までのぬるま湯の時代から厳しい時代に入りつつあります。しかし、これらは恩寵的試練であり、チャンスが拡大したと認識しています。このチャンスを我々のものにするためにも、建学の精神を「心棒」として根付かせ、教員学生共々、切磋琢磨したいと考えています。

## 国家試験対策をさらに強化しています

近年の国家試験合格者を図1に示しましたが、平成23年は全国の合格率は74.3%になり、前年の92.6%から大きく低下しました。畿央大学でも89.2%の合格率となり、65名の受験者中、7人が不合格になりました。国家試験は280点満点で、168点以上獲得し、かつ、専門実地問題で6割以上獲得しなくてはなりません。平成23年の合格率が低下した原因は、問題が難しくなったことに尽きますが、今までの他の医療職の国家試験合格率の推移から考えても、この傾向は今後も続くと予測しています。今回の自己採点結果では、200点以上が17名、190点台が11名、180点台が16名、170点台が8名、160点台が4名でした。高得点の人がいる一方で、ボーダー点数の人も居ますが、これらの差異の原因は、やる気、勉強量、勉強の方法など様々です。しかし、最も大きい要因は「やる気、気力」であると痛感しています。また、図1で示したように、今までは不合格の人が少なかったため、「何とかなるであろう」

と気が緩んでいた人もいたと思います。

今年度からは、月曜日から金曜日の1から4限目まで（9時から16時10分）は4回生全員に登校してもらい、特定の教室で出来る限りグループでの学習をしてもらう予定にしています。また、昨年度から実施していますが、国家試験の準備科目である「理学療法総合演習」での単位認定時期を、気が緩まないように3回に分けて設定しています。さらに、後期開始前には、2回生から4回生までは過去の国家試験を受験して

もらいますが、今年からは間違った箇所についてレポート提出してもらい、担任やゼミ担任が指導することとしました。通常の定期試験にも国家試験に準ずる問題を多く出題していますので、国家試験問題は特に難しい問題ではありません。真面目に勉強していれば必ず一定の点数を獲得できます。

ところで、図2に示したように、理学療法士の数の急増に少し待たがかった状態になっています。この事は、結果として質の高い理学療法士を輩出することになり、患者さんにとっても良い事であり、また、我々にとってもチャンスであると認識しています。

図1 国家試験合格率（全国平均と畿央大学）

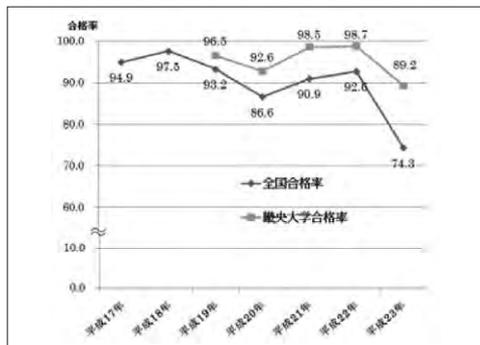
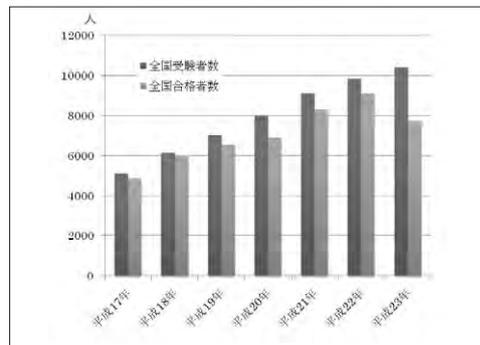


図2 全国の受験者数と合格者数



## 実習で患者さん、ご家族、他職種と接しています。

4回生は4月11日から6月1日までが1期目の総合臨床実習であり、6月6日から7月27日までが2期目になります。実習では、指導者の指導を受けながら、患者さんの障害像などを把握し、個人に相応しい治療プログラムを立案、実施し、さらに患者さんの反応を捉えて治療プログラムを変更します。担当させていただく患者さんの代表的疾患は、脚に問題があって手術を受けた人や、脳出血や脳梗塞後の人になります。

実習を通じて、患者さん、ご家族、他職種とも出来る限り接することになりますが、様々な経験を通して、学生さんが

人として成長していることを客観的に感じます。先日まで高校生だった彼らが、自分の感情をコントロールして患者さんの話を真摯に聞き、励まし、うまく理学療法実施にまで運び、結果的に患者さんが喜んでる事を指導者から聞くと、こちらまで嬉しくなります。確実に、専門家として知を磨き、徳をのばし、美を感じ、作ろうと努力していますが、今後も継続して欲しいと思っています。



# メッセージ

看護医療学科  
学科長  
伊藤 明子



早いもので、看護医療学科もいよいよ今年度は、はじめての卒業生を送り出すことになりました。保護者の皆様方の温かいご支援とご協力のお陰と心より感謝申し上げます。今、看護行政や看護教育は激動の時を迎えています。本学も、法改正により平成24

年度入学生からは、保健師国家試験受験資格の取得は選択制となります。また、平成24年4月に助産学専攻科を開設するための準備も進めています。確実に看護職に求められる社会のニーズは拡大し、より高い専門性が期待されるようになりました。

長い臨地実習で、多くのことを体験的に学んできた4回生は、ちょっとした日常の所作に成長が見えます。国家試験に向けても実力をつけ全員合格を目指したいと思います。後輩たちは、先輩の頼もしい様子から、あこがれの先輩を見つけたり、臨地実習や国家試験の情報収集をしながら学生生活を充実させ楽しんでいようです。先輩がいるということは、すばらしいことだと思います。

3月11日の東日本大震災以来、被災地、

被害者だけに止まらず、節電など私たちの生活はもとより、生きる心構えまでもが大きく変化しているように感じます。湯川秀樹博士は、「原子力をエネルギーに活用する技術はすばらしい、そのすばらしい技術を使う人間は、それにふさわしい人間として成長していかなければならない」という有名な言葉を残していますが、このことは、まさに看護の技術にも当てはまると思います。

建学の精神「徳・知・美」で学ぶ学生は、みずみずしい感性と豊かな人間性に支えられた看護技術を身につけてくれることを大いに期待し、教員一同努力をしています。今後とも保護者の皆様方のご支援ご鞭撻をよろしくお願いいたします。

## 1期生の全員合格をめざして

今年度は完成年度を迎え、1期生が初めて来年2月に国家試験を受験します。看護医療学科では、右の表に示す計画を立て、模試等を行ってきました。また表にはありませんが、可否を決定するといわれる基礎医学の知識の強化を図るために3回生前期に「基礎医学総合演習」を開講、また学外講師による模試解答解説会等を実施してきました。1期生、2期生とも、3回生までの模試では、学科全体の全国順位も個人の成績もひどい状況でしたが、中でも1期生は「国家試験までまだまだだし、私たちはやればできる」という雰囲気が出ていました。3回生前期まではサークルやアルバイトに精を出し、後期は実習。4回生も前期は実習があり、実習中は何もできないみたいな雰囲気でも、時間だけが過ぎていきます。3回生の3月からはe-learningで過去問を学習できる環境が整いましたが、勉強

してほしい学生が勉強をしていません。「やればできるというけど、いつやるの?」できるだけ学生の自主性に任せたいところですがこれでは駄目だと思います。6月の模試までにe-learning1200問全部を解くように指導しました。

また、4回生に入り自分の目標に向かって学習することが今優先すべきこととようやく気づき、講義のない日も大学に出てきてグループで学習する姿が見られるようにもなりました。きちんとやっている学生は成績が伸びていて、学科全体の全国順位も中間くらいになりましたが、合格圏内にいる学生と厳しい学生の差が大きくなっています。4回生に入ってから学生の個人模試成績は全教員で共有し、成績の振るわない学生には面談したり、夏休みの補講を計画するなど、あと半年に迫った国家試験に向けて叱ったり

### 国家試験対策マスタープラン

回生	時 期	看護師・保健師国家試験対策
1 回生	前期	
	後期	国家試験対策説明会
2 回生	前期 4月	分野別模試 (人体構造機能学・感染免疫学・基礎看護学)
	後期 9月	分野別模試 (病理病態学・薬と健康)
3 回生	前期	4月 基礎学力テスト
		6月 必修問題・専門基礎科目
	後期	10月 保健師模試
		3月 看護師・保健師e-learning
4 回生	前期	4月 分野別模試 (人体構造機能学・感染免疫学・基礎看護学)、基礎学力テスト
		6月 第1回全国公開模試
		8月 第1回国試対策テスト
	後期	10月 第2回全国公開模試・保健師模試
		11月 第2回国試対策テスト
		1月 第3回全国公開模試・保健師模試

誉めたりしながら合格に向けてサポートしています。1期生は大学生生活も後半になりました。ともかく1期生の全員合格、そして2期生、3期生へと良い形で継続されるよう、学科の教員全体で取り組んでいきますので、ご家庭におかれましてはご協力をよろしくお願いいたします。

## 「国際看護論」ではこのようなことをやっています ～平和には何が必要? 健康に必要なものは?～

「国際看護論」は4回生の必修科目です。国際社会の動向や世界の中の日本という立場を理解し、グローバルな視点で活動できる基礎を養うことを目的としています。5月には、国連機関であるWHO神戸センターとJICA(国際協力機構)兵庫センターを訪問しました。また、7月には、神戸大学大学院国際協力研究科教授ロニー・アレキサンダー先生を迎え、平和について考えるワークショップを開催しました。

まず、みんなで輪になって身体を使った表現を試みました。「ねこ」…「仲よし」…表現方法は皆違います。違う考えも尊重できますか? 全く同じ考えを持っている人など稀なことを学

生たちは再確認しました。使用したビデオでは、猫の「ポーポキ」が「平和は何色? 平和の味は? においは? 音は? 感触は? …」と問いかけます。「平和には何が必要か」を考えながら、ポーポキも一緒に平和に暮らせる街や庭をグループで絵にしました。「戦争や暴力のない世界」だけではない「平和の意味」、「食べたいものを食べる」「学びたいことが学べる」「友だちと自由に遊べる」「意見を交わすことのできる社会」「動物も植物も幸せな街」など、いろいろな平和を皆で考えました。健康に必要なものは…あれ? 多くのことが平和に必要なものと重なっています。平和であることが健康の必須条件だという気づきを皆で共有しました。



## メッセージ

健康栄養学科  
学科長  
北田 善三



保護者の皆さまには、日頃より本学科の教育にご理解とご協力を賜り、心より感謝申し上げます。

本学の特色の一つに、きめ細かな学生支

援をめざすためのクラス担任制があります。先日の朝日新聞によりますと、全国で79.3%の大学がクラス担任制を採用しており、大学全体の動きとなっているようです。新生にとっては初めての学生生活で分からないことばかりで、学校側から説明されても、履修登録、シラバス、セメスターなど初めて聞く言葉の意味すら理解できない中で、打ち解けあって相談できるのがクラス担任です。学生にとっては大変心強いことだと思います。本学科では、毎月開く学科会議で特に心配な学生の近況を報告しあい、クラス担任を含めた学科教員全員で共通の認識を持ち、学生の指導に当たれる体制をとっています。

もう一つの特徴として、就職支援部門であるキャリアセンターに学科担当職員がいることです。1回生から就職支援の授業が開講されていることもあって、学生はキャリア担当の職員とは早くから顔なじみとなり、就職活動が本格化する3回生の終盤からは、クラス担任よりもキャリア担任と話す機会が多くなる学生もいます。

東日本大震災以降、「絆」という文字をよく目にするようになりましたが、本学の担任制は学習面、生活面、就職面などあらゆる面で学生と教職員の「絆」を深める役割を果たしています。今後も「絆」を一層深めるべく教職員一同努力してまいりますので、ご支援のほど宜しくお願いします。

## 健康栄養学科の国家試験対策について

去る3月20日に第25回管理栄養士国家試験が実施されました。本学のような管理栄養士養成課程の新卒者は7,865名が受験して6,320名が合格し、合格率は82.1%でした。一方、既卒者の平均合格率は14.3%です。このことから、働きながら勉強して合格を目指すことがいかに難しいかが窺えます。管理栄養士国家試験の出題範囲は大学4年間で習った専門科目ほぼすべてといって過言ではなく、過去問を1,2ヶ月勉強した程度ではとても歯が立ちません。早い時期から国家試験を意識して勉強に取り組んでいくことがとても大切です。つまり在学中にしっかり勉強して、万全の体制で卒業時の受験に臨むことが合格の最大のチャンスであると言えます。

健康栄養学科では受験者全員の合格を目指して様々な国家試験対策を実施しています。早期の対策として、2回生学年末に総

合対策演習Ⅰ（集中講義）、3回生学年末に総合対策演習Ⅱ（集中講義）を開講しています。これらの演習を通じて国試の難易度を認識させ、危機意識を持たせて奮起を促します。国試に向けた勉強が本格化する4回生では、特別演習Ⅰ（前期）および特別演習Ⅱ（後期）を開講しています。これらの授業では、専門科目を担当する学科全教員が持ち回りで講義や演習を行い、これまでに習った専門分野の内容を復習するとともに、その知識を用いて国家試験形式の問題を解く力を身につけていきます。また、4回生の夏休みには、受験対策を専門とする講師を招いて集中講義を行っています。さらに、これらの授業と並行して繰り返し模擬試験を実施し、弱点を確認

するとともに試験問題の復習を通じて学力の向上を図っています。

しかしながら、これらの国試対策が効果を上げるかどうかは本人のやる気次第です。合格を目指す強い気持ちを持って勉強に取り組むよう、精神面での指導も強化していきたいと考えています。



## 『檀原おみやげもの開発プロジェクト』 「大和の天雲（あまくも）」がグランプリ

畿央大学と檀原商工会議所がコンペ形式でおみやげものを企画開発する「檀原おみやげもの開発プロジェクト」が、今年4月から始動しました。このプロジェクトには、健康栄養学科の学生約50名が13グループに分かれて参加しました。説明会、勉強会、檀原市内見学、個別相談会など精力的な活動を展開していくうちに学生たちは、作品のイメージを膨らませていきました。そして、いよいよ7月14日に受賞作品の発表と表彰式がありました。エントリーされた作品は



作品作りに取り組む学生たち

過去最多の20作品で、審査項目は①プレゼンテーション、②ネーミング、③檀原市の特徴、④独創性、⑤形、⑥彩り、⑦味、⑧特徴ある食材、⑨食べやすさ、⑩商品化など多岐にわたりましたが、やはり檀原の新しいおみやげとして商品化が可能かどうか重要な基準になりました。今回、見事グランプリに輝いたのは、2回生チームが考案した「大和の天雲」で、大和茶の苦みをきかせたマシュマロです。また、優秀賞には3回生チームが考案した「万葉歌子」が選ばれ、他にも佳作3作品が選出されました。いずれも甲乙つけがたい作品ばかりで、学生の熱意がしっかりと伝わってきました。



グランプリを受賞した作品と学生たち

## メッセージ

人間環境デザイン学科  
学科長  
三井田 康記



平素より、本学の教育にご理解とご支援を賜り、ありがとうございます。

昨年より「氷河期」といわれていた就職

状況は、東日本大震災以後さらに厳しさを増しています。今年はいまだに、4回生の4割が内定をいただいているのにすぎず、多くの学生が就職活動中の状態にいます。教員、職員ともに力を合わせて、粘り強く就職活動の支援をしていく覚悟でいますので、保護者の皆様も辛抱強く学生を元気づけていただけるよう、お願いします。

4回生はこれから、大学4年間の集大成としての卒業研究にとりかかります。連日夜遅くまで製作や研究に明け暮れる日々がスタートします。来年も、卒業作品展を2月25日（土）、26日（日）の2日間、奈良市の猿沢池の南にある「奈良市ならまちセ

ンター」のギャラリーで開催する予定です。4回生はもちろんのこと、下級生の保護者の皆様もぜひ足をお運びください。4年間の成長に驚かされるに違いありません。

一方、2回生、3回生も、後期はプロジェクトゼミが始まります。通常の授業とは違い、2、3回生でグループを組み、学外に出て調査したりして、それぞれに与えられた課題に取り組みます。当初は稚拙に見える取り組みも、回を重ねるにつれて、立派な成果に変わっていくのに、例年、教員一同驚かされています。今年も楽しみです。

## 資格取得へ対策をすすめています

人間環境デザイン学科では、コースごとに在学中に取得を推奨している資格があります。

建築・まちづくりコースでは…

みんなが目指すもっとも大きな資格は建築士です。この資格は所定の単位を取得すると受験資格を得ることができます。本学では4回生の卒業前に学内で2級建築士へ向けた対策講座を希望者対象に開講します。資格専門学校との提携によって、卒業後も進路先の近くで引き続き講座を受け、卒業後すぐの2級建築士学科試験に備えることができます。

その結果、卒業生から2級建築士を取得したとの嬉しい報告がだんだんと増えています。そのうち1級建築士を目指している卒業生からも、合格の知らせがくることでしょう。

インテリアデザインコースでは…

インテリアプランナー登録資格、インテリアコーディネーターなど、さまざまな資



格取得を推奨しています。

在学中の資格対策としてはインテリア設計士の対策を授業科目の中で行っています。現在、受験した学生はほぼ100%の合格率を保っています。(写真はその授業風景です)

造形デザインコースでは…

幅広いデザインに関する学びをしています。その中でも大きな資格は中・高校教諭一種免許状（家庭）です。実際の家理科教

諭への就職は倍率が高く、なかなか難しい現状ではありますが、昨年度静岡県の中学校教諭として一名が見事採用試験に合格し、現在中学校の先生として頑張っています。現在非常勤の講師として働きながら、採用試験を目指している卒業生もいます。

また、在学中は色彩検定の資格取得を推奨しています。必修科目の「色彩論Ⅰ・Ⅱ」は色彩検定の試験対策を兼ねた授業内容です。

## 「吉野山エコカーテン」の社会実験に取り組んでいます。

佐藤昌子先生と卒業研究ゼミ生3名が、吉野山まちづくり協議会と協力し、寒冷紗をのれんのように軒先にかける、歴史的景観をまもる試み「吉野山エコカーテン」の社会実験に今春から取り組んでいます。7月上旬、企業と共同で開発した「寒冷紗エコカーテン」が完成し、5軒の旅館・商店の軒先



マスクミの取材も受けました

に設置しました。これまで、吉野の景観を損ねていると酷評されていた日覆いのかわりに、どの程度紫外線を防ぐことができるのか、省エネ効果が

期待できるのかを計測します。さらに、吉野の景観とマッチしているのかをまちの人や観光客



にアンケートします。桜色やパステル調の色とりどりの寒冷紗カーテンがかかると、ご協力いただいたお店からは「吉野に新しい彩りが生まれた」「四季折々衣替えもできる」など喜びの声が聞くことができました。

今後も地域住民の方々のニーズを受け止めながら「オンライン・カーテン」の改良の道筋を進めていきたいと意気盛んです。

## メッセージ

現代教育学科  
学科長  
安井 義和



本学後援会の皆様には、常日頃より現代教育学科の教育活動にご理解とご協力を賜り、心よりお礼を申し上げます。

現代教育学科も7年目を迎えています。学部完成年度以来、弛まぬ改革に取り組んで参りました。学生の確実なる目的実現のため、学生が就職のみならず卒業後も大いに有用な力を付けることを考慮してのこととご理解下されば幸いです。

22年度からはコース制をあらたなものにし、位置づけも改革いたしました。23年度からは情報機器に強い卒業生を送り出すために3つの科目を新設いたしました。情報関係の科目は教職のみならず、一般企業でも不可欠なプレゼンテーション能力等を高めるのに有効な科目と考えています。

今春の東日本大震災以来、日本のあるべ

き姿、進む方向も失いそうではありませんが、困難な壁に突き当たったときこそ、長期の見通しの出来る人材、及びそれらの実現に向かって進める人材が必要です。具体的には人の底力・人間力の重要性がクローズアップされます。教育学部の学生が卒業後に希望の職に就くこととともに、将来の日本を多様な場所で担ってくれる、担い得る人材を送り出したいと教職員一同が力を合わせて行きたいと思っています。それには学生の頑張りも当然ですが、保護者様の今まで同様のご支援をお願いいたします。

## 教員採用試験や就職活動に挑む学生をみんなで支えています

「みんなで模擬授業をするので見ていただけですか。」

「自分たちで集団面接の勉強をしているのですが、アドバイスをください。」

「企業の求人票が届いたと聞きました。面談をお願いします。」

採用試験や就職活動に挑む学生たちです。教職員は、この真剣な姿勢の学生たちを何とか応援したいと、ガイダンスや対策講座、面接や模擬授業、保育の指導、個別相談などに、日々取り組んでいます。

そしてそれは、教職員に限りません。前



期のある土曜日のこと。E棟の2階のオープン教室に、7月の教員採用試験を控えた4回生たちと、懐かしい顔ぶれがそろっていました。この春から教壇に立っている卒業生たちが、緊張と不安でいっぱいの子供たちに、一年前の経験をアドバイスしに、大学に来てくれたのです。

さらに、1回生のキャリアデザインセミナーでは、今年も、幼稚園や小学校、企業に勤めている卒業生が、大学で学んだことや今の仕事の様子を1回生に語ってくれました。「大学時代にどんな経験をしておけばよいか。」「子どもへの対応のヒントがほしい」など、とても積極的な質問も1回生から出されました。

こういった取組の中、平成23年度は、114名の学生が教職に、16名の学生が一般企業に進みました。教員採用試験は、小学校教諭が6割、養護教諭が5割、公立幼稚園・保育士は9割の最終合格率となり、現場で



講師をしながら受験をした卒業生の16名も最終合格を得るなど、素晴らしい成績でした。

学生と教職員、友達同士、先輩と後輩が、みんなで支え合い、それぞれの夢の実現をバックアップするという学風が、畿央大学に生まれています。

後援会や保護者の皆様の応援も、とてもありがたく、力強い支えです。これからも、どうぞよろしく願います。

## 電子黒板を活用した授業を、実際の教育現場で体感!

7月7日(木)、富島ゼミと西端ゼミ合同で大阪市立東中本小学校を訪問し、電子黒板を活用した授業を参観させていただきました。

授業は6年生の算数です。円の面積を求める公式を考える授業でした。

円を半径で等しく分けた図を実際にはさみで切り、それを既習の図形に並べて面積を求め



ます。その後に、電子黒板でその作業ではできない部分を動画で見せます。子どもたちが注目したのはいうまでもありません。子どもたちの「わかった!」の瞬間を見ることができました。

また、電子黒板ならではの場面は他にもありました。前の時間に子どもが電子黒板に書いた考えを導入の場面で見せることから授業が始まりました。黒板を使っていたのではできないことだと思いました。この授業での子どもたちの表情を見た時、電子黒板の必要性を実感しました。

畿央大学にも電子黒板があります。これからの大学での学びの中で大いに電子黒板を使ってみたいです。

教育学部現代教育学科3回生 K.K

# 担任からのメッセージ

畿央大学の担任制度は、教員が担任として学生との人格的な接触をはかり、学生生活全般の指導を行うことによって、建学の精神を身につけた有為な人材を養成することを目的としています。

健康科学部は学科ごとに2～4クラスを編成し各クラスに1名、教育学部はコースごとに1～4名の担任を置くことにしています。健康科学部4回生、教育学部3・4回生は卒業研究の指導教員がゼミ担任となります。

担任の役割は、「学習指導」「生活指導」「進路・就職指導」「学

生の危機管理」が主なものですが、学生一人ひとりの状況を系統的に把握していくために全学年において年2回の全員面談を実施しています。また、学生の求めに応じ、また必要性が生じた時には随時に面談を行うこととしています。

健康科学部1～3回生担任、教育学部1・2回生担任からメッセージを寄せていただきました。

## コメントの内容

- ① 前期面談を終えて、担当している学生の様子、良い面、心配な面
- ② 担任として心掛けていること、保護者をお願いしたいこと



理学療法学科1回生担任  
冷水 誠

① ほとんどの学生が新しい大学生生活の楽しさを実感していると同時に、専門的な勉強の「難しさ」も感じているようです。その「難しさ」も、単に「難しい」だけでなく、明確な目的意識を持ちながら興味深く勉強に取り組もうとしている姿勢が印象的です。ただ、1回生は基礎知識として覚えることが多く、苦戦している学生もちらほら見受けられます。しかし、この学年は授業への参加も積極的であり、同じ志を持った仲間同士としてつながりが強いように思うので、なんとか乗り越えてくることを信じています。

② 私は学生にアルバイトを勧めています。アルバイトは、理学療法士はもちろん、社会人として重要なコミュニケーション能力を向上させるために、非常に良い環境であると考えています。もちろん「普通の勉強に支障が出ない範囲で」とは釘を刺しています。



理学療法学科1回生担任  
松本 大輔

① クラスの大部分の学生が週2回程度の部活、サークルに参加し、週2回程度のアルバイトもしています。その中でも、35名全員が「大学生活が楽しいです！」と答えて来ています。学生によって、友達と一緒に過ごすことや、部活やサークルなど楽しい理由はさまざまですが、大学生活を十分に満喫できているようです。また、授業では、医学の基礎となる生理学を難しく感じているようですが、それを自覚し早い段階から自己学習している学生も多くいます。

② 私が前期に担当の授業がないので、休み時間や放課後など面談以外で学生と話をする時間を設けるようにし、学生の状況把握と何でも相談できるような関係づくりを心掛けています。保護者の方々をお願いしたいこととして、体調不良で休んでいる学生がよくいますので、健康管理の面から支援していただければと思います。



理学療法学科2回生担任  
前岡 浩

① 2回生では、1回生よりもさらに専門性を増した科目が増え、知識量、知識の深さが求められます。そして、授業スピードも速くなる場合もあり、すでに多くの学生がそのことに気づいています。その中でやはり1回生での

授業の復習の必要性を感じている学生が多く、今後の専門科目もこれまでに得た基礎科目の知識が必要となりますので、ぜひ実行していただきたいと考えます。大学生活については、楽しく順調との答えが大半であり、遊びの方も積極的に取り組んでいただきたいと思います。

② 大学生活の中で2回生がおそらく一番楽しく、いろいろなことに時間を費やせる時期かもしれません。1回生は入学後で緊張していたと思います。そして3回生ほど授業は忙しくありません。良い意味でも悪い意味でも「慣れ」ができる学年かもしれません。学業が本分であることを忘れずに、いろいろなことに挑戦していただきたいと思います。



理学療法学科2回生担任  
岡田 洋平

① 2回生になり、1回生の時と比べて専門的な科目が増えてきており、日頃の勉強が予習復習だけでも大変だという声をよく聞いております。一方、将来理学療法士になるという想いも高まってきているように感じしております。夜遅くまで自習室などに残って授業の復習のため内容をノートにまとめている姿も見られるようになってきました。体調管理に気を付けながら、日頃主体的に考えて勉強し、理学療法士になるという夢の実現にむけて頑張ってもらえればと思います。

② クラスのほとんどが高校卒業後、すぐに理学療法士になるという夢を持ち、本学に入学いただいているのは素晴らしいことだと思います。勉強も大変になってきているので、進路に迷うこともあるかもしれません。私はそのようなサインをできるだけ見逃さないように心がけております。ご家庭での様子やお子様からの話などで何かございましたら、どうぞご遠慮なく早めにご相談いただければと思います。



理学療法学科3回生担任  
東山 明子

① 3回生となり、勉強も厳しくなってきました。単位未取得科目や再履修科目がちらほら出て来ています。アルバイトとの兼ね合いを考え迷う学生さんも多くなりました。みんなな理学療法士になるために必死で頑張っている様子がひしひし伝わってきます。

② 健康に気をつけて明るく前向きな気持ちを持って励んで欲しいと祈るばかりです。自分を見守ってくれる人のやわらかな存在を感

じることが応援になると思いますので、よろしくをお願いします。



理学療法学科3回生担任  
瓜谷 大輔

① 学生たちは専門科目の学習が進むにつれ、理学療法学の奥深さを身にしみて感じているようで、学習内容の難易度が上がっていくにつれ、日々の学習においても悪戦苦闘している姿が見てとれます。その一方で、それ以上に学生たちの理学療法に対する関心も日に日に深まっており、主体的に積極的に学習に取り組む姿が当たり前になってきました。入学直後の面談を振り返ると、学生一人一人、たくましくなったなあと痛感します。

② 後期は実習授業がほとんどで、それが終わると臨床実習に臨みます。新たな局面で悩みを溜め込んでしまう学生がしばしば見受けられますので、ご家庭でもお子様の様子を少し気にかけていただき、コミュニケーションを取っていただきたいと思います。



看護医療学科1回生担任  
河野 由美

① 入学して1カ月が経過した5月中旬に、初めての担任面談を実施させて頂きました。この時期は、大学生活への不安や疲れ、進路選択に関する迷い、友人関係の悩みが出てくる時期でもあり、面談前には私自身も多少の不安がございました。しかし、面談を実施してみると、この私の杞憂は払拭されました。全ての学生さんが面談時に「学校が楽しい」「友達がたくさんできた」「看護師の資格を得たい」と満面の笑みで語って下さり、これなら大丈夫と安心した次第です。

② 担任は、普段はその存在を意識されなくても、学生さんが困った時に、そっと傍にいて支援できる存在でありたいと思っております。保護者の方のお力添えを賜りながら、少しでも学生さんを支えられるよう尽力したいと思っております。



看護医療学科1回生担任  
小林 智子

① 皆、明るく元気で、始まったばかりの学生生活を心から楽しんでいる様子です。看護を志したきっかけは様々でしたが、これから進もうとしている方向は同じであり、意欲に満ち溢れていました。学習面では、専門科目に対しては熱心に取り組んでいるようですが、他

の科目においては一部、集中できていないこともあるようです。単なる高校の延長ではないことを各自が意識し、自ら学ぶ姿勢を身につけて欲しいと思います。

② つかず離れずのスタンスですが、全体に目を配ることを心がけています。大学生として、そして看護を学ぶ者としての自覚を促しながら、サポートできる態勢も整えておきたいと思っています。今後ともよろしくお願い致します。



#### 看護医療学科1 回生担任 乾 富士男

① みなさん、看護師になりたいというモチベーションが高い印象でした。このことは学ぶ環境としていいことだと思います。今後も高いモチベーションを維持してもらえればと思います。ただ、少し気になったのは、要領よく目的を達しようという姿勢がうかがえることです(試験の過去問を求めるなど)。要領がいいことは悪いことではありませんが、学問においては必ずしもプラスになるとは限らないと思います。

② 私は、勉強(勉めて強い)はあまりよくないと思っています。学問(学んで思う)をしなければいけないと考えます。教えられるのではなく、学び取るという姿勢で学習に臨んでもらいたいと思います。



#### 看護医療学科1 回生担任 堀内 美由紀

① ほとんどの学生が「大学はとても楽しい」と話をしてくれます。楽しすぎて授業中まで賑やかなことがあるようですが、それが良くないことは自覚していて、それぞれが改善を心がけています。「今はおしゃべりをやめよう!」と勇気ある提案が仲間の中で出来るように、と面談の中で声をかけた学生の多くが「頑張る」と応えてくれました。集中力とその時々合った態度やマナーを身につけていけるようサポートできればと考えています。

② 健康に関するプロフェッショナルを目指す学生たちなので、まず自分の健康や家族の健康に関心を持ってほしいと思います。食事や睡眠、生活リズムや運動習慣など、自分自身と大切な家族の健康について考える機会をご家庭でも積極的に与えてあげてください。



#### 看護医療学科2 回生担任 船瀬 孝子

① 「単位は修得できたが満足できない成績であった。今後は早くから勉学の時間をつくり頑張る」、「学習したことが理解できていないので、何回も復習が必要」、「レポートや事前学習におわれ、勉強する時間がとれず試験が心配」など、自己の学習上の課題を述べていました。また、サークルやクラブで定期的な活動している人は少ない現状です。一方、アルバイトが過重になっている人もいます。学業に負担がないように自己管理してほしいと思います。

② 学生に出会った時には、必ず声をかけコミュニケーションをとるようにしています。欠席の多い場合や進路の悩みなど必要時、保護者の方に状況をお知らせし連絡をとらせて頂きたいと思っています。



#### 看護医療学科2 回生担任 畑野 富美

① 学生の大多数が2回生になり授業内容が専門性を増し、学習時間の確保や学習方法などに関する学習上の課題について考えていました。後輩を迎え、先輩となり大学生生活に充実感を感じる一方、この1年間をいかに過ごすべきか迷いも多い様子です。臨地実習を控えた3回生までの1年間をいかに過ごすか自己課題と向き合い、充実した大学生活としていてもらいたいと思います。

② 学生がいつでも学習や生活上の悩みなどを相談できる環境を提供したいと思っています。保護者の方には、学生が嬉しいことも辛いことも含め語れる環境をお願いしたいと思います。どうか温かいご支援をお願い致します。



#### 看護医療学科2 回生担任 林 有学

① 学生の言葉からは、2回生で学ぶ科目は、より専門的で難しい内容になってきた、日々こつこつと学習しないと試験直前になって大変になると実感しているのを感じました。しかし、その言葉と裏腹に行動がついていかないうちがもうかがえました。学ぶ内容は、自分たちが目指す看護の仕事に直結しており、どれも大事で興味ももてるようですが、人をケアすることの難しさも感じるようです。試験前には、グループで遅くまで勉強している姿を何度も見かけました。

② 学生の持つ力を信じて厳しくもあたたかく見守りたいと思っております。ご家庭でお子様のように気になることがありましたら、ご遠慮なくお声かけ下さい。今後ともよろしくお願いいたします。



#### 看護医療学科2 回生担任 目良 宣子

① 学生生活には慣れ、幾分ゆとりが出てきています。サークルやアルバイトに力を入れる一方、日々の自主的な学習量が少なくなっているのではないのでしょうか。面談時に、解剖生理の基礎的なことを尋ねてみると答えられないこともあり、4回生になってからあわてないように、基礎学力をしっかり身につけておいてほしいです。青春時代を十分に謳歌するために、様々な活動にチャレンジし、メリハリをつけた生活をしてもらいたいです。

② 多感な時期でもあり、経済的なこと、家族のこと、学習のこと、友人関係のこと、ふとしたことで悩みを抱えやすい時期でもあります。安心してほっと息のつける環境を、ご家庭でも研究室でも用意できたらと思います。



#### 看護医療学科3 回生担任 坂田 進

① 3回生前期は看護の必修専門科目の授業が一層多くなり課題も増えておりますので、個人面談では日々の予習・復習の大切さを指導しました。実際、多くの学生は、勉学に追われてクラブ・サークル活動やボランティア活動を控え目にしています。8月末から半年間におよぶ病院臨地実習が始まっております。ご家庭においても、アルバイトの中止と生活習慣の見直しをご指導させていただきますよう、お願い

致します。

② 学生が建学の精神である「徳をのぼす、知をみがく、美をつくる」を身につけて、さまざまな経験を介して大きく成長することを願っています。保護者の皆様には、学習時間の確保にご協力下さいますよう、お願い致します。



#### 看護医療学科3 回生担任 林田 麗

① 3回生になり、看護の専門科目がさらに増えました。また、グループで取り組む課題も増え、愚痴をこぼしながらも、メンバー間で互いに協力しながら、真面目に頑張っているようです。国家試験模試の結果も含めて、自分の学習不足を痛感しているとの声を多く聞き、この前期に学習時間を確保し、学習方法も見直し、成績を上げている学生もいます。学習不足を補うという行動に移せていない学生もいるので、間もなく始まる実習に向けて、互いに励まし合い、学習に取り組んでほしいと思います。

② これからいよいよ臨地実習が始まります。学生たちは緊張や不安でいっぱいだと思います。また、実習中は悩みや迷い、泣き言、疲労などいろいろあると思いますが、これまで通り温かく見守っていただきたいと思います。



#### 看護医療学科3 回生担任 弓場 紀子

① 学生は、臨地実習に向けて不安がありながらも、やっと昨年度までの長い座学生生活から解放され看護の対象と向き合う実践場(臨地実習)に出ることを楽しみにしていました。また、後期から実習中心の生活になるにあたりアルバイトを辞める計画を立てている学生や今まで以上に健康管理に気をつけている学生や国家試験勉強との両立という点で時間の確保について考えている学生など個々に何をしなければならぬかという問題に向き合っている様子が伺えました。一方、アルバイトは気分転換になるとの理由から実習中も週2~3日を継続するという学生もいました。後期からの臨地実習中心の生活は、起床時間が早くなったり、対象との関係性で悩んだりなど今までの生活スタイルと異なる面が多々あります。真面目に取り組む学生が多いため、体調を崩さずうまく乗り切ってくれるかが心配です。

② 学生が、いつもで気軽に学習や生活上の悩みなどを相談できる関係でいたいと思っています。後期から臨地実習という環境下でかなり疲労すると思われる。安らげる環境づくりをお願い致します。



#### 看護医療学科3 回生担任 山本 智津子

① 3回生になり、より専門的な知識や演習が増え、それに伴い必然的に学習時間が増してきてますが、専門知識を理解し技術を獲得した時の喜びは絶大のようです。また国家試験の対策についての質問も多くなり、少しずつ「国家試験を受験する」という自覚が出てきており、大変嬉しく思っています。

② 後期に入ると臨床実習が中心となり、今までのような大学の講義とは違い、生活リズムの変化、実習への不安等により心身ともに体調を崩しやすくなります。担任としても実

りある実習が行えるようサポートしていきませんが、ご家庭におかれましてはこうした状況をご理解のうえ、ご支援をお願いいたします。



**健康栄養学科1 回生担任  
高野 康夫**

- ① 今年度健康栄養学科1 クラスを担当しています高野です。入学時に「夢を力に」というテーマで各自の将来構想などを取り入れた作文を書いてもらいました。まずは全員が非常に高い目的意識をあげ、この目標に向かって邁進する決意を述べています。現代っ子にしては非常に考え方がしっかりしていて頼もしく思いました。目標設定した後、行動に移していくわけですが、この行動力を期待したいと思います。勿論、後方支援の手を差し伸べて更なる人格形成のアップに繋げていきたいと思っています。大学を巣立っていく4年後の成長を楽しみにしています。
- ② 学生にとって初めての経験となる前期試験が目の前に迫っていますが、クラス全員がこの高いハードルを乗り越えてくれるものと信じています。その後は夏期休暇となりますので、家庭においては通常の生活リズムを崩さないように御指導の程、宜しくお願ひします。



**健康栄養学科1 回生担任  
喜多 雅子**

- ① すでに進路について明確な目標を持っている学生が多く、病院などの臨床栄養系、食品開発系、スポーツ栄養系希望の方が多い傾向です。また、いろいろなことにチャレンジしたいという学生が多く、2組を中心として新しいウインタースポーツサークルが結成されたほどです。ただ、積極的な学生が多く良いと思う反面、複数のクラブ・サークル参加+バイトという生活パターンの学生が多く、勉学との両立が少し心配されます。
- ② 1回生の担当授業がないため、メールのやり取りや研究室が実習室に近いので、調理実習の際声をかけ、身近に担任がいることを感じてもらえるようにしています。ご家族からも大学での様子を聞いてみていただければと思います。



**健康栄養学科2 回生担任  
岡崎 眞**

- ① 2回生は全体として学力が高く授業態度も抜群に良いので、大学らしい、教科書“を”教えるのではない、教科書“で”教える授業が可能です。その結果これまでにない高い学習効果が得られています。ただし、高校までの教育のせいで、自分の学習成果を他人との位置関係で判断しようとする傾向も強く見られます。あと2年少しの学生生活で是非とも大学生らしい自己同一性を身に付けてほしいものです。多くの学生が与えられる学習から脱却して、それぞれ懸命に自ら学び取る学習に取り組んでいるので安心しています。
- ② 多くの学生がアルバイトをしています。まさに成人になろうとしているこの時機に、社会人としての貴重な経験が数多く得られるものと期待しています。しかし2回生は大学生活に慣れてきたこともあり、ややもすると生活がアルバイトに偏重してしまうことのある危険な時期でもあります。担任として、で

きるだけの注意をしていますが、保護者の方々にも日々の生活のなかでご配慮いただきたく、よろしくお願ひいたします。



**健康栄養学科2 回生担任  
上地 加容子**

- ① 大半の学生は、クラブ・サークル・ボランティア活動、アルバイトを生活の中うまく組み入れ、充実した学生生活を送っているようです。一方、1回生に比べて、履修科目数や専門科目も増えたため、復習しようと思っているがアルバイト等で時間が取れない、試験が心配だという学生が多く見受けられました。今後さらに学習面で忙しくなることを伝え、単位を落とした学生や、アルバイト偏重ぎみの学生には、学業を優先するよう指導しました。
- ② 担任としては、何か困ったことがあれば1人で悩まず、相談に来よう話していますが、ご家庭でも会話を心がけていただくなど、保護者の皆様と一緒に成長を見守っていきたいと思っています。



**健康栄養学科3 回生担任  
金内 雅夫**

- ① 3回生になっていろいろな専門科目を学び、そろそろ卒業後の希望進路を考える時期となってきましたが、まだ漠然として決めかねていて、臨床実習を終えてから具体的に考えたいという方が多かったようです。国家試験は年々難しくなっています。いまのうちから少しずつでも、勉強していく姿勢を身につけてください。
- ② 最近は就職活動に割く時間や国家試験勉強に専念するという建前で卒業研究を行わない学生が少なくありません。実学主義・資格取得優先とはいえ、卒業論文を仕上げない卒業するのであれば専門学校となら違いがありません。折角の大学生活、一時期を卒研生同士が同じ釜の飯を食って苦楽を共にする、そのような機会を放棄することのないように、保護者の方からもご指導をお願いします。



**健康栄養学科3 回生担任  
松村 羊子**

- ① 3回生となり、専門科目も増加して勉強量を増やさないといけないが、なかなかその時間がとれていないようです。それに加え、3回生の夏休みにほとんどの学生が学外に臨地実習に出るので、実習に対する不安感を強く持っている学生が多いようです。この学年は基本的に真面目な学生が多く、なんでも一生懸命取り組むのですが、その分実習に対しては自信をもって臨めないと不安を強く感じているのではないかと考えています。
- ② 臨地実習に関しては真摯に取り組むと同時にリラックスすることも必要なことを指導しています。精神的にも肉体的にも疲弊しているので、ご家庭では温かく見守っていただき、実社会にでる前段階として励ましていただきたいと思います。



**健康栄養学科3 回生担任  
冬木 啓子**

- ① 「自分自身を客観的に見つめられる姿勢と、社会へ巣立つ心構えが日々育ってきている」

と感じられました。クラス対象に開催しました国家試験受験勉強法特別講座にも大勢の参加があり、合格が難しい検定試験にも意欲的に臨んでくれております。他人に頼るのではなく、まず自分自身を磨き、力を付けることを重視する学生達であることを頼もしく思っております。周りを思いやり、協調しながら、自身を高めていける社会人になってもらえるよう指導していきたいと思っております。

② 学生達と話す機会をできるだけ持つように心掛けております。「今学んでいることが、人生の養分になり、宝であること。今はまず学業第一に考え、その範囲内でアルバイト等をする事」を常に言っております。今後は就職試験受験に向けての指導にも力を入れていきたいと思っております。



**人間環境デザイン学科1 回生担任  
藤井 豊史**

- ① 共通して言えるのは「将来の希望」が見えていないことでしょうか。「希望」を聞くと皆口を揃えて「建築士免許を取りたい」「家庭科教員免許が取りたい」等、資格名称を答えるのが気になります。資格は道具に過ぎませんし、目先の問題でしか有りません。これからの人生、どうやって生きてゆくの、何を成し遂げたいのかを考えて欲しいと思っております。
- ② 大学生はもう大人であり何時でも親や先生が守ってくれる訳ではない、自分の責任は自分で取らねばならないということを教えたいと思っています。彼らも4年後には自分の力のみが頼りの社会に出ざるを得ないのでから。



**人間環境デザイン学科1 回生担任  
東 実千代**

- ① デザインに興味を持って入学した学生の大半は、日々の学習に充実感を感じている様子でした。デッサン等の実習には得手不得手があり、自信をなくしかけている学生もいましたが、クラスの雰囲気が良いようで、学生生活全体としては満足しているようです。建築士免許取得を目指す学生その他、インテリアや教職への興味を示す学生もおり、色々な選択肢から目標を見つけようとする前向きな姿勢に感心しています。入試を終えた気の緩みからか、授業中に私語が多いのが改善すべき点です。後期からは気持ちを切り替えて授業に臨んで欲しいと思います。
- ② 社会に出るまでの準備期間でもある大学生活ですが、自立して行動できるかどうかには個人差があります。学生さんと関わる際には、一人一人の個性を尊重するように心がけています。ご家庭では、健康管理に気をつけて頂ければ幸いです。



**人間環境デザイン学科2 回生担任  
中山 順**

- ① 前期面談を終えて感じたことは、1回生の頃に較べて自分自身の進むべき方向に迷いはなくなりはっきりしてきた学生が増えたことです。もちろん全員ではないですが、間違いなく増えています。そして、担当する学生は男子が圧倒的多数を占めることもあり、その方向はやはり建築系が多いです。2回生になっ

てから課題制作等で忙しくなり、しんどいと言う学生も少なからずいますが、頑張っていると思います。この調子で今後も順調に進むことを期待しています。

② 担任として心掛けていることは、全く当然なのですが学生をよく知ることです。1回生の時に較べれば一人一人の性格等がやわかるようになってきたように思います。そして、保護者の方からもよく話を聞いていただき、ご心配なこと等がありましたらご連絡をいただきたいと存じます。



人間環境デザイン学科2回生担任  
李 沅貞

① 5月中ごろ、2組30人全員に対して前期面談を行いました。建築コース志望者が多く、また福祉環境コーディネーターや色彩検定など、できるだけ資格を取って卒業したいと抱負を述べていましたが、いつの間にか、コース変更などで悩んでいる様子が見受けられます。大学生になって約1年半の間、夢と現実の間で悩んでいるようです。コース変更に至っては少なからず挫折感を味わっていると思います。前向きに頑張ってください。

② 担任としては、いつでも気軽になんでも相談できるように心掛けていますが、家族、特に保護者のサポートが最も大事な時期ではないかと思えます。あたたかい応援をどうぞよろしく願います。



人間環境デザイン学科3回生担任  
加藤 信喜

① 今年は担任として最終年度であり、前期面談を終えた時点で各々の生徒と最低5回以上も話し合ったこととなります。それだけに教員と生徒の距離が益々近くなってきているように思えます。信頼されていることを実感しますし、同時にそれに応えなくてはいけないという責任も感じます。授業では専門性が増し高度な内容についていけないという不安を抱えている生徒も少なくありません。悩み多い年頃であるため、そばにいて共に悩むことが大事だと思っています。

② 特に担任だからというわけではないのですが、生徒ひとりひとりの立場になり目線をそろえて真摯に対応していきたいと思っています。しかし、正直思うようにはいきませんが、親御様へのお願いは、たとえ短時間でもお子様とコミュニケーションをとって頂くこと、これに尽きると思います。



人間環境デザイン学科3回生担任  
金敷 大之

① 健康で活発に大学生活を送っています。ただし、何名かの学生は卒業に必修の授業を落としているので、この点は心配です。

② 卒業に必要な単位数を確保しているのかどうかを学生とともにご確認くださいと幸いです。



現代教育学科  
学校教育コース1回生担任  
奥田 俊詞

① 「自分の目標を持って入学してきてくれた」という印象を、ほとんどの学生に対して感じました。大学で

取り組みたいことを尋ねると「先生になるためにがんばりたい」、「子どもや保護者に信頼される先生になれるように力をつけたい」などとても頼もしい言葉が返ってきました。改めて、私たち大学教員の責任の重大さを痛感し、身が引き締まる思いがしました。

② これからの4年間は決して平坦なものではなく、壁にぶつかったり、悩んだりすることも多いと思います。そのときは、「君なら解決できるよ、大丈夫」など、学生が焦らずにいられるようなメッセージを送ってあげてください。



現代教育学科  
学校教育コース1回生担任  
竹下 幸男

① 小学校教諭や幼稚園教諭など4年後の卒業時の目標をほとんどの学生がしっかり持っている点は良いことだと思います。それに向けてしっかり努力したいという意思も伝わり、心強く感じました。今の気持ちを忘れずに4年間勉強を続けてほしいし、それができれば、それぞれの夢を実現できると思います。一方で、朝、起きるのが難しいなど、日常生活の面で大人になりきれない点や、話し言葉などにまだまだ幼い面も感じられました。

② まずは、こちらからアドバイスをしたり、意見をするよりも、学生の話に耳を傾けることが大切ではないかと思っています。家庭では社会生活のマナーをしっかりと身に付けられるようにご指導をお願いします。



現代教育学科  
学校教育コース1回生担任  
生野 勝彦

① 気が合う仲間ができ、凄く生活が楽しいという声が多くありました。また、クラスの全員から将来は「絶対に教員になる」という熱い思いを感じることができ、嬉しくなりました。「英語の予習は欠かさずやっている」「課題や小テストは全力でやりきる」という学生もいます。また、在学中にボランティアへ参加し、たくさんの経験を積みたいという学生も非常に多くいました。運動部やサークルへの加入率も高く、1回生ながら10数名でサークルを立ち上げた学生もいます。

② 学内で顔を合わす機会は少ないですが、見かけたときは必ず声をかけるようにしています。切磋琢磨できる友人関係を築いて欲しいと思っています。保護者の皆様におかれましては、お気づきの点がありましたら気兼ねなく連絡してください。



現代教育学科  
学校教育コース1回生担任  
石川 裕之

① 前期面談を終えて感じているのは、畿央大学の学生さんは本当に根がしっかりしているなということです。将来教師になるというはっきりした目的を持っている学生さんばかりで、学業に対するモチベーションも高く感じました。一方で、大学に入学したばかりということもあり、授業の受け方や勉強法などに関して高校までとの違いに戸惑っている学生さんも少なくありませんでした。ただ、こうした不安は最初誰もが持つもので、学生生活を送っているうち

に徐々に解消されて行くものだと思っています。

② 学生さんには何かあればいつでも担任に相談しに来るように言っておりますし、こちらからも学生さんの様子を気にかけていきたいと思っています。ただ、学校外での生活にまでは目が届きませんので、大学と家庭が相互に連携し協力しつつ学生さんの成長をサポートしていければと思っています。



現代教育学科  
幼児教育コース1回生担任  
永瀬 泰一郎

① 現在1回生幼児教育コースの担任をさせていただいております。コースに59名の学生がいる中で担当の30名の学生と面談致しました。今年の特徴と致しまして、大学の予習・復習を行っている学生が非常に多いことです。大学入学を果たしても、将来を見据えた学習ができる学生が多く集まったと考えております。中には勉強癖を持ちにくい学生もおりますので、ご家庭からの応援をよろしくお願い致します。

② 大学で居場所がない、仲間と共にいるのが辛い、このような学生も中にはおります。4年間の大学生活を通して社会で自信をもって生きていけるように、一人ひとりに寄り添ったサポートを行って参りたいと考えております。



現代教育学科  
幼児教育コース1回生担任  
坂本 暁美

① 入学後少し慣れた頃の面談でしたので、大学生活の話題を中心に話をしました。ほとんどの人は大学生活に慣れてきているようで安堵しましたが、新しい環境の変化に伴う心配事や、授業に対する不安などをかかえている様子で、今後も継続的な配慮の必要性を感じました。うれしかったことは、自分の未来をつくるために今何をすればよいか、ということ具体的に言える人が多かったことです。今後の成長を期待したいと思っています。

② 担任として、モチベーションを高めるような声かけや将来像について具体的に話をするよう心掛けています。特に学生さんが発するサインに気づけるよう、話しやすい雰囲気です接するよう努めています。保護者の皆様には、頑張っていることへの応援の言葉かけを宜しくお願いします。



現代教育学科  
教育心理学コース1回生担任  
中城 進

① 何かに成ろうとして、日夜、必死に頑張っている学生の姿が見られます。上回生の姿を見て、これからの自身の在り様のことを思い悩み、考えている学生もいます。勉学に精進する上回生を見習って、夜遅くまで自習をする学生も出て来ています。しかし、全体的な傾向をみると、基礎学力が低い。特に、英語力が弱い。英文の音読ができない学生が実に多い。他の教科も弱い可能性もある。基礎学力の不十分さの自覚が本人にあるのかが心配です。

② 自身の弱さを自覚し、その弱さを自力で克服する力を付けさせてやりたいと思います。自身の将来（数年後の将来）を自身で構想し、

企画し、実行計画を練り、実践する企画力・構想力・実践力を持たせてやりたいと思います。家庭においても「将来の自分」を本人に語らせて欲しいと思っています。



現代教育学科  
教育心理学コース1 回生担任  
辰巳 智則

① 学生の大方が、何かしらの初期経験を大事にしながら、今日に至っております。なので、多くの学生には、学びの目的が明確であるという強い印象を受けております。しかし一方、過去には、そうした経験の大きさをゆえに、自らの経験とそこで培われた思考の枠組みに依存・執着し過ぎてしまい、自らを小さく纏めてしまっているかのような学生も多くみえました。クラスの学生には、貪欲に学問と向き合い、今の自分が成しえる想像の範囲を超えて、思考し、行動できる人に育って欲しいと願っております。

② 多様な情報が氾濫している社会にあって、本質的な情報が否かを自ら見究め、選択する能力を育むことが教員の使命の一つであると考えております。社会のルールの範囲内で、酸いもの甘いものを十分に味わわせてやれる環境を大事にしたいと考えております。



現代教育学科  
学校教育コース2 回生担任  
西尾 正寛

① 「子どもが好きなんです」「先生になることが夢でした」と無邪気そうに話していた去年とは違い、「自分に子どもを叱ることは出来るのか」「自分は先生に向いているのか」といった不安な心を明かす学生が多かったことが2 回生当初の面談の特徴です。大学での授業で「児童を理解すること」「学校現場が直面する課題を解決すること」などを学び、小学校見学で児童の実態を知ったことの成果であり、こうした問題意識をもてるようになったことに学生の成長を感じています。

② 担任としてはインターンシップやボランティアで感じた、実習に臨むにあたって感じる学生の不安を、オープンに受け止め、課題解決の相談に乗っていきたくと考えています。保護者の皆様にもお子様のサポートされる際のノウハウについて、気軽に相談していただければ幸いです。



現代教育学科  
学校教育コース2 回生担任  
岡本 啓子

① 大学生活や学外での生活について、しっかり考えて行動できているように感じています。専門が始まり頑張ろうとしているものが多く、4 年次の教員採用試験に向け、「今から勉強を始めたい」と強い気持ちを持っています。さらに、クラブやサークル活動に取り組んでいる学生が多く、またインターンシップにも多くの学生が参加しており、積極的に行動を進めているようです。

② 教育職の大事な要素「声かけ」の効果を感じてほしいので、学内において「声かけ」を心掛けています。さらに初心を大事に、自分と相手を大切にしてほしいと願っています。保護者のみなさまには、自宅、下宿生に関わ

らず、たまに「元気が・・・」と「頑張っているね」の声かけをお願いいたします。



現代教育学科  
学校教育コース2 回生担任  
深田 将揮

① ほとんどの学生が授業、ボランティア、インターンシップ、またサークル・クラブ活動、その合間にアルバイトと、とにかく自分の夢実現に向かって懸命に頑張っている様子が印象的でした。夢を持ち、実現に向かって頑張っているとどんな事でも前向きに、また元気でいれるのだと学生から教えてもらいました。ただその反面、頑張り過ぎから来る疲れやストレスが溜まっていなにか心配です。

② 学生の表情や様子の変化には敏感に反応しております。また、事あることに積極的に声掛けもしております。ですが、もしご家庭で気になるようなことがございましたらご相談いただければと思います。



現代教育学科  
学校教育コース2 回生担任  
ムース・ランディ

① 2011年の前期の面談を終了し、学生は殆ど皆が単位を修得し、頑張ってくれました。今年の2 回生は特に団結心をもち、お互いを助け合う気持ちを強く持ってくれています。私が担任を受け持っている学生の全般的な印象は、優秀な教師になる為にまじめに取り組み、必要な知識経験を真剣に得ようと努力してくれています。心配なところは、病気や、家族の問題を抱えている学生がいるので、担任として、必要なサポートをしていきたいと思っています。学生がどんどん成長する姿を見せてくれて、こちらもちにやる気がわき、私自身も勉強させてもらっています。

② 保護者の方にお願いさせて頂きたいことは、子供の様子を常に気にかかけ、コミュニケーションを密にとって頂きたいと思っております。なるべく毎日声をかけ、学校や、友達の様子等を尋ねてあげて頂きたいです。担任として心掛けていることは、常に学生に声掛けをし、様子をよく見、よりよりコミュニケーションを取り、信頼関係を確立することです。



現代教育学科  
幼児教育コース2 回生担任  
柏井 みづほ

① 幼児教育コースの学生は、この夏、教育学部の中で一番先に保育所と福祉施設での実習に参加します。本年4 月から半期間にわたり実習に向けての指導を行ってきました。皆、熱心に学び、授業を重ねるごとに実習への心構えができ、顔つきまでが変わってきたように感じられます。毎年、学生たちは実習で成長し、勉学の新たな課題・意欲を持って一段と頼もしくなります。今年の2 回生もまた、後期には成長した姿を見せてくれると期待しています。

② 半期毎の面談では、一人ひとりの夢の実現のために今何をすべきかを一緒に考え、実習やボランティア、インターンシップ、サークル活動に積極的に参加することを勧めています。保護者の方々のご理解とご協力をお願いいたします。



現代教育学科  
幼児教育コース2 回生担任  
大城 愛子

① 前期の面談を終えて、学生たちが半年前の面談の時からぐっと成長しているのを感じ、とても嬉しくまた頼もしく感じています。インターンシップやボランティア等で子どもと接する活動に意欲的に取り組んでいる学生が多く、その中で迷いや悩みにぶつかりながらも一生懸命頑張っている姿は、私自身にとっても励みとなっています。一方、進路に迷いが生じたり、悩みを抱えたりしている学生も中にはいます。気になる学生に対しては、様子を見守りつつ、本人の意思を尊重しながら支援していくことが大切だと考えています。

② 講義の際に会える学生もいますが、それだけではなかなか一人ひとりの様子を把握することは困難なので、学内で顔を合わせた時は挨拶に加えて何か一言でも声をかけ、会話の機会をもつことを心がけています。ご家庭でも大学生活について色々話を聞いていただけたら、と思います。



現代教育学科  
教育心理学コース2 回生担任  
三好 環

① ほとんどの学生は、2 回生になって大学生活にすっかりなじみ、毎日が楽しく、勉学面においても充実している、と感じています。また、自分の進路を1 回生時よりも具体的にとらえており、そのための専門科目が増えてきていることに学び甲斐を感じているようです。大学での学習は、授業を手がかりとした自学自習も含めての学習であり、インターネットで手短かに調べただけでなくじっくりと書籍も読んで、自ら積極的に深く学んでほしいと願っています。

② 学生たちは、多少の問題は自分で解決しているようですが、学生が親しみやすく気軽に相談できる担任でありたい、と心掛けています。保護者と共に学生を育てていきたいと思っていますので、気づかれたことがあればご連絡ください。



現代教育学科  
教育心理学コース2 回生担任  
良原 誠崇

① 全体的には順調に勉学に励んでいます。1 回生の時に反省が残る学生も今期は意欲的に取り組んでおり、頼もしく思っています。一部ではアルバイトに精力的になりすぎている学生もいます。自活しようとする気持ちはたいへん立派なことですが、勉学に影響することは好ましくありません。ご家庭でもご配慮いただければと思います。

② 臨床心理士・健康支援センター副センター長としても、学生の皆さんの何者かであるとする自立を見守り、かつモラトリアムとして何者でもない時期を擁護していきたくと考えています。ご家庭でも温かく見守って下さいますようお願い申し上げます。



# 2011年度保護者アンケート結果のご報告

今年度の保護者アンケートの回答総数は628、後援会の皆さまの34%の方から回答をお寄せ頂きました。昨年の1.5倍を上回るご回答を頂きましたことに改めてお礼申し上げます(図1)。年々、回答数・回答率ともに増えております。保護者の方々の畿央大学に対するご期待が大きくなっていることと受け止め、アンケート結果を今後の本学の運営に活かしていきたいと思っております。以下、今年度のアンケート結果についてご報告させていただきます。

## 「徳をのばす」「知をみがく」「美をつくる」

アンケートにご回答頂いた方の約2/3の方が本学の建学の精神について御存じでした(図2)。この建学の精神は、豊かな人間性を追求することこそが教育の最終目標であるとする考え方に立ち、冬木学園の創立以来、一貫して精神的支柱としてきたものです。非常に多くの保護者の方々が建学の精神をご存知であるということは、保護者の方々も同じ思いを共有して頂いていることの表れともいえます。私たち教職員はこの建学の精神に則った教育を行い、

学生たちがそれを身につけて社会に巣立っていくために、精いっぱい努力をしたいと考えています。

## 畿央大学のイメージ

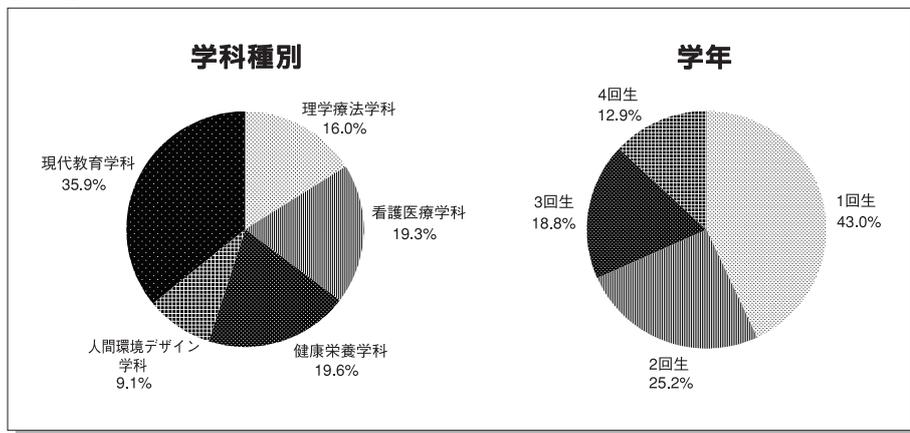
保護者の方が畿央大学にお持ちだった入学前のイメージと現在の実感についてお聞きしましたが、「まったく同じ」と「ほとんど同じ」という回答が合計75.8%、「少し違う」と「まったく違う」の合計は24.2%でした(図3)。同じイメージだったという方に、持っておられたイメージをお聞きしましたが、そのほとんどが「アットホームな大学」「指導がきめ細やか」「先生と学生の距離が近い」「充実した学生生活を楽しめる」「校舎がきれい」といった内容でした。イメージが違ったという方にどこが違ったのかをお聞きしましたが「新しい大学なので良く知らなかったが意外としっかりしている」「思ったより就職率が良い」など、プラスの意味でイメージが違ったと回答して下さった方が多数でした。しかし、一方で「1回生から勉強が大変そう」「テストが難しく留年する可能性があること」とい

うような回答も頂きました。いずれにしても学生が入学するまで畿央大学のことをご存じなかったと書かれている方が多く、畿央大学の知名度をさらに上げる広報活動が重要であることを認識させられました。

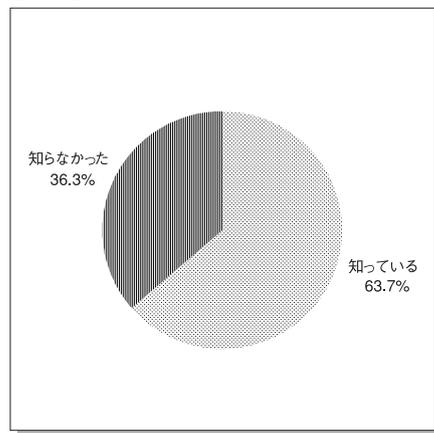
## 保護者の方から見た畿央大生の生活

「畿央大学について家庭で話題になりますか?」の質問に、「よく話題になる」「ときどき話題になる」との回答の合計が84.7%でした(図4)。親子間の会話をもつこと自体が難しいとされる年頃であることも考えると、大変高い数字ではないでしょうか。また、「畿央大学での生活に充実感を持って通学されているように思われますか?」への回答は、「強くそう思う」が48.0%で、「ややそう思う」が47.3%と肯定的な回答の合計が95.3%となっています(図5)。理由として、「楽しそうに通学している」「頑張っている」「サークル活動が充実している」などのコメントも頂いています。積極的なキャンパスライフと、それについての話題をご家族で共有されているお姿がイメージされます。一方、「長時間の通学

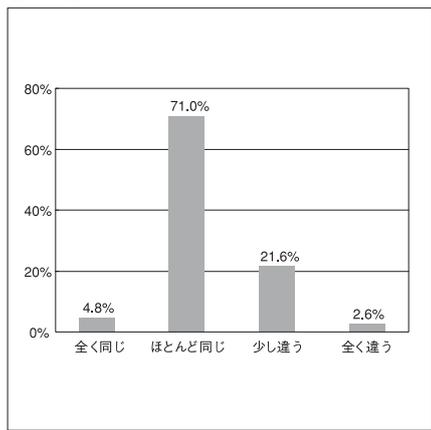
【図1】 ● 回答いただいた保護者の内訳



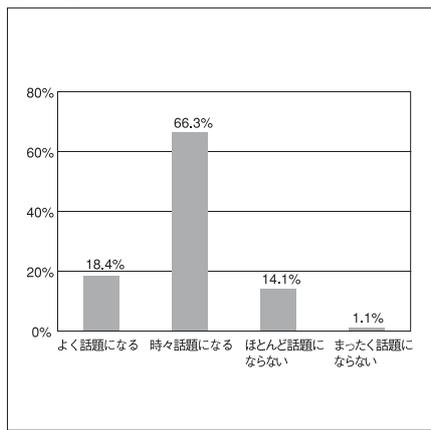
【図2】 ● 建学の精神について



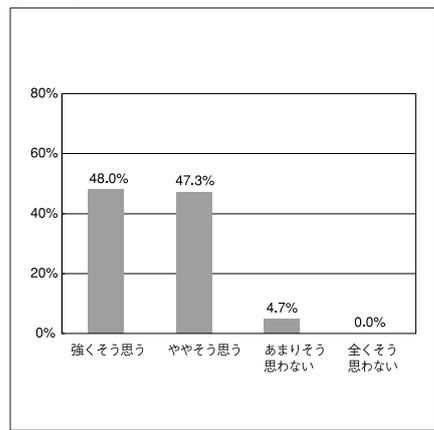
【図3】 ● 畿央大学の入学前のイメージと現在の実感



【図4】 ● 畿央大学について家庭で話題になりますか?



【図5】 ● 学生の大学生活に対する充実感はあるか?

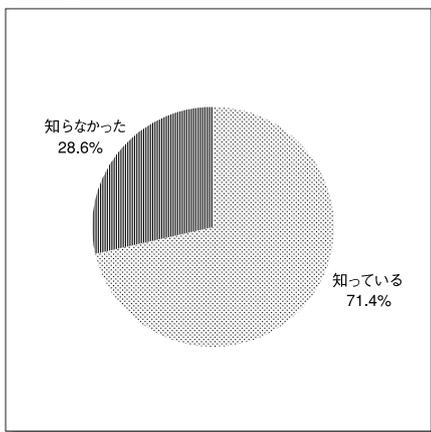


で疲れがち」「レポート・課題や発表の準備が大変」等のコメントもありました。大学としても学業上のサポートのみならず、生活面でもより細やかなサポートをしたいと思っています。

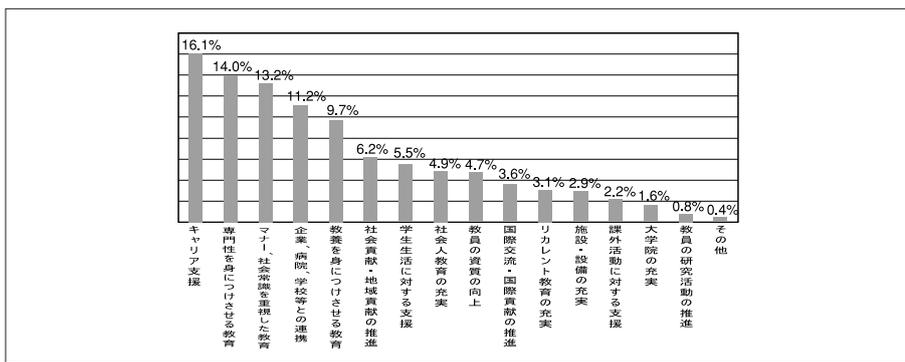
## 担任制度についてのご意見

畿央大学では担任制度をとっています。アンケートに回答頂いたうち71.4%の方が、担任制についてご存知でした(図6)。担任制へのご意見をお聞きしましたが「良いと思う!」「安心感があります」「一人ひとりの学生を把握して頂いているのを感じております」といったプラス評価と「先生の方から積極的に声をかけて頂きたい」「学生と担任との面談を定期的に行っているようだが、その内容について保護者へフィードバックが欲しい」といったご要望、また「担任によって対応が違うように聞いている

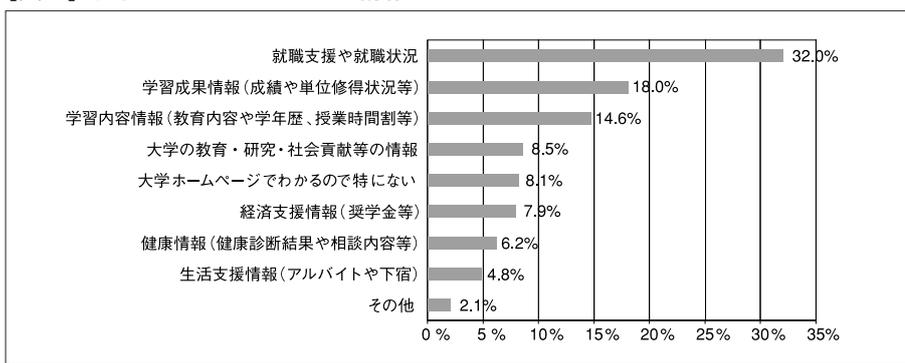
【図6】●担任制について



【図7】●畿央大学が充実すべき点は？



【図8】●もっと知らせてほしい情報は？



る」「4年間一緒といのは良い面・悪い面がありどちらとも言えない」「子どもがあまり意味がないように言っている」といったご意見もありました。頂戴したご意見を参考に、畿央大学ならではのより充実した担任制度のありかた、また担任を担当する教員の資質向上に努めて行きたいと思っています。

## 大学への要望

今後充実させるべき点として、多くの方が「キャリア支援」「専門性を身につけさせる教育」をあげておられます(図7)。また、昨年度は第5位であった「マナー・社会常識を重視した教育」へのご要望が今年度は第3位となっています。「厳しい世の中になっています。社会に通用する精神力を養うような教育をお願いしたい」というコメントも頂戴しました。別の設問で、「大学の校門前で喫煙する学生を見ると恥ずかしい。厳しく指導すべきである」というコメントも頂戴しましたが、そのような行為は社会人としてのマナーに欠ける行為であること、畿央大学生としてのマナー、品格のありようといったことを、建学の精神に基づいて教育していかなくてはと話しているところです。

## 畿央大学からの情報提供

情報提供についての満足度は「大変満足」「ある程度満足」を足して81%とたいへん高い評価を頂きました。昨年度のアンケートでは61%でしたので20ポイントのアップということになります。この後援会だよりも2009年3月に第1号を発刊して3年目。大

学からの情報提供に少しはお役に立てているのではと考えたり、またホームページで学生や先生方の教育研究活動の一端をリアルタイムに提供していることを評価して頂けたのではと思います。

ホームページへのご感想では「興味を持って拝見しています。更新が多いとありがたいです」「いろんな情報を掲載して頂き、楽しく見せて頂いています。学生さんたちの作品や授業の様子をこれからもよろしくお願いします」「クラブ活動の様子などももっと見せて頂けたら...」「学生に作らせたらどうでしょう」といった意見も頂戴しました。

もっと知らせてほしい情報としては「就職支援や就職状況」「学習成果情報(成績や単位修得状況)」「学習内容情報(教育内容や学年歴、授業時間割等)」の順となっています(図8)。「保護者専用のサイトの設置を望む」といったご意見も頂戴していますので、さらに改善策を検討していきたいと考えます。

## 情報提供についてのQ&A

### ◎ 大学での学生の様子をもっと知りたいのですが？

A 畿央大学のホームページでは、大学としての取り組み、学生や教員の状況をできるだけ速く、きめこまかに情報発信するよう心がけています。トップページのトピックスやイベント情報をまずご覧いただきたいのですが、特に『Kio's Smile Site』は学科ごとにこれまでの取り組みの様子を見て頂けるお勧めサイトです。本学ホームページ右側のバナー(図9)をクリックしてお入りください。

### ◎ 就職活動についてもっと情報を得る方法はありますか？

A 上記の『Kio's Smile Site』バナーの下に『畿央生 就職レポート』の入り口があります。一度ぜひのぞいてみてください。本学での就職支援についてのリアルタイムでの報告、各種セミナーについての情報に加え、就職活動を終えたばかりの在学生や先輩の活動報告は、今後の就職活動の参考にして頂けると思います。このサイトでもご案内していますが、本学の就職率は2年連続で関西1位となりました。(読売新聞社『就職に強い大学』2011)。今後もこれを伝統とすべく努めていきたいと考えています。

【図9】 Kio's Smile Siteの入り口



# 授業日カレンダー

注：①～⑯は各曜日の授業回数、※印のついた日は校舎内に入ることはできません。■は休講日

大学での授業は、前期・後期各15回行われます。①～⑯は曜日ごとの授業週数を表しています。15週目は補講期間ということで休講等があった際にはその週に授業が行われます。16週目は最終授業期間ということで定期テスト、テストがない場合は授業が行われます。曜日によって15回を確保するために、休日に授業を行うことがありますのでご理解ください。

## 健康科学部

9月		10月		11月		12月		1月		2月	
日	曜 内 容	日	曜 内 容	日	曜 内 容	日	曜 内 容	日	曜 内 容	日	曜 内 容
1	木 前期成績・後期学納金振込票発送	1	土 ②	1	火 ⑤	1	木 ⑨	1	日 元日 ※	1	水 ⑯
2	金	2	日	2	水 ⑥	2	金 ⑩	2	月 振替休日※	2	木 ⑰
3	土	3	月 ②	3	木 ⑥	3	土 ⑩	3	火 ※	3	金 ⑰
4	日	4	火 ②	4	金 ⑤	4	日	4	水 ※	4	土 ⑰
5	月	5	水 ②	5	土 ⑥	5	月 ⑪	5	木	5	日
6	火	6	木 ②	6	日 指定校推薦入試 ※	6	火 ⑩	6	金 ⑬	6	月 ⑰
7	水	7	金 ②	7	月 ⑦	7	水 ⑩	7	土 ⑬	7	火 ⑰
8	木	8	土 ③	8	火 ⑥	8	木 ⑩	8	日	8	水
9	金	9	日 AO入試 ※	9	水 ⑦	9	金 ⑩	9	月 成人の日	9	木
10	土	10	月 ③	10	木 ⑥	10	土 ⑩	10	火 ⑬	10	金
11	日	11	火 休講日	11	金 ⑥	11	日	11	土 ⑬	11	月 建国記念日 大学院入試
12	月	12	水 ③	12	土 公募推薦入試	12	月 ⑫	12	木 ⑬	12	日
13	火	13	木 ③	13	日 公募推薦入試	13	火 ⑪	13	金 試験会場設置 (休校日)	13	月
14	水	14	金 ③	14	月 ⑧	14	水 ⑪	14	土 大学入試センター試験 ※	14	火
15	木	15	土 ④	15	火 ⑦	15	木 ⑪	15	日 大学入試センター試験 ※	15	水
16	金	16	日	16	水 ⑧	16	金 ⑪	16	月 ⑭	16	木
17	土	17	月 ④	17	木 ⑦	17	土 ⑪	17	火 ⑭	17	金
18	日	18	火 ③	18	金 ⑦	18	日	18	水 ⑭	18	土 一般入試
19	月 敬老の日	19	水 ④	19	土 ⑦	19	月 ⑬	19	木 ⑭	19	日
20	火 履修登録	20	木 ④	20	日 公募推薦入試	20	火 ⑫	20	金 ⑭	20	月
21	水 履修登録	21	金 ④	21	月 ⑨	21	水 ⑫	21	土 ⑭	21	火
22	木 履修登録	22	土 ④	22	火 ⑧	22	木 ⑫	22	日	22	水
23	金 秋分の日 AO入試(大学校)試験	23	日 ④	23	木 勤労感謝の日	23	金 ⑫	23	月 一般入試	23	木
24	土 ①授業開始	24	月 ④	24	火 ⑧	24	土 ⑫	24	火 一般入試	24	金
25	日	25	火 ④	25	金 ⑧	25	日	25	水 ⑮	25	土
26	月 ①	26	水 ⑤	26	土 ⑧	26	月 補講予備日	26	木 ⑮	26	日
27	火 ①	27	木 ⑤	27	日	27	火 補講予備日	27	金 ⑮	27	月
28	水 ①	28	金 ④	28	月 ⑩	28	水	28	土 ⑮	28	火
29	木 ①	29	土 ⑤	29	火 ⑨	29	木 ※	29	日 ⑮	29	水
30	金 ①	30	日	30	水 ⑨	30	金 ※	30	月 ⑮	30	木
		31	月 ⑤	31	土	31	日 ※	31	火 ⑮		

## 教育学部

9月		10月		11月		12月		1月		2月	
日	曜 内 容	日	曜 内 容	日	曜 内 容	日	曜 内 容	日	曜 内 容	日	曜 内 容
1	木 前期成績・後期学納金振込票発送	1	土 ①授業開始	1	火 ④	1	木 ⑧	1	日 元日 ※	1	水 ⑮
2	金	2	日	2	水 ⑤	2	金 ⑧	2	月 振替休日※	2	木 ⑮
3	土	3	月 ①	3	木 ⑤	3	土 ⑧	3	火 ※	3	金 ⑮
4	日	4	火 ①	4	金 ④	4	日	4	水 ※	4	土 ⑮
5	月	5	水 ①	5	土 ⑤	5	月 ⑩	5	木	5	日
6	火	6	木 ①	6	日 指定校推薦入試 ※	6	火 ⑨	6	金 ⑫	6	月 ⑮
7	水	7	金 ①	7	月 ⑥	7	水 ⑨	7	土 ⑫	7	火 ⑮
8	木	8	土 ②	8	火 ⑤	8	木 ⑨	8	日	8	水 ⑮
9	金	9	日 AO入試 ※	9	水 ⑥	9	金 ⑨	9	月 成人の日	9	木 ⑮
10	土	10	月 ②	10	木 ⑤	10	土 ⑨	10	火 ⑬	10	金 ⑮
11	日	11	火 休講日	11	金 ⑤	11	日	11	土 ⑬	11	月 ⑮
12	月	12	水 ②	12	土 公募推薦入試	12	月 ⑪	12	木 ⑫	12	日
13	火	13	木 ②	13	日 公募推薦入試	13	火 ⑩	13	金 試験会場設置 (休校日)	13	月
14	水	14	金 ②	14	月 ⑦	14	水 ⑩	14	土 大学入試センター試験 ※	14	火
15	木	15	土 ③	15	火 ⑥	15	木 ⑩	15	日 大学入試センター試験 ※	15	水
16	金	16	日	16	水 ⑦	16	金 ⑩	16	月 ⑭	16	木
17	土	17	月 ③	17	木 ⑥	17	土 ⑩	17	火 ⑭	17	金
18	日	18	火 ②	18	金 ⑥	18	日	18	水 ⑬	18	土 一般入試
19	月 敬老の日	19	水 ③	19	土 ⑥	19	月 ⑫	19	木 ⑬	19	日
20	火 履修登録	20	木 ③	20	日 公募推薦入試	20	火 ⑪	20	金 ⑬	20	月
21	水 履修登録	21	金 ③	21	月 ⑧	21	水 ⑪	21	土 ⑬	21	火
22	木 履修登録	22	土 ③	22	火 ⑦	22	木 ⑪	22	日	22	水
23	金 秋分の日 AO入試(大学校)試験	23	日 ③	23	木 勤労感謝の日	23	金 ⑪	23	月 一般入試	23	木
24	土 ①授業開始	24	月 ④	24	火 ⑦	24	土 ⑪	24	火 一般入試	24	金
25	日	25	火 ③	25	金 ⑦	25	日	25	水 ⑭	25	土
26	月 ①	26	水 ④	26	土 ⑦	26	月 ⑬	26	木 ⑭	26	日
27	火 履修登録	27	木 ④	27	日	27	火 ⑫	27	金 ⑭	27	月
28	水 履修登録	28	金 ③	28	月 ⑨	28	水	28	土 ⑭	28	火
29	木 履修登録	29	土 ④	29	火 ⑧	29	木 ※	29	日 一般入試	29	水
30	金	30	日	30	水 ⑧	30	金 ※	30	月 ⑮	30	木
		31	月 ④	31	土	31	日 ※	31	火 ⑮		

## 第9回 畿央祭 テーマ：「つながり」

日時：2011年10月22日(土)・23日(日)

今年のテーマは「つながり」です。実行委員会によると「東日本大震災を通して“絆”人と人との「つながり」を感じました。畿央大生の先輩、後輩の枠を超えた『つながり』、先生方との『つながり』、畿央祭に関わってくださる全ての人々との『つながり』を大切にしたいという気持ちを込めました。」とのこと、例年にも増して人と人との温かな「つながり」を感じる畿央祭になりそうです。

### 今年も楽しい企画がいっぱい

毎年、地域のみなさんや受験生、保護者のみなさんに楽しんで頂いている畿央祭。今年は、東日本大震災の被災地の子ども向けに取り組んだボランティアの報告やゼミ、クラブの企画や展示などさらに充実した内容になりそうです。教員による「ウェルカムキャンパスin畿央祭」も同時に開催されます。



## 冬木学園へのご支援のお願い

学校法人冬木学園は、「徳をのばす、知をみかく、美をつくる」という建学の精神のもとにたゆまぬ教育活動を行い、平成18年には学園創立60周年を迎えることができました。現在は幼稚園、高校、大学、大学院を有し、昨今の厳しい教育環境のなかでも本学園への社会的評価は年々高まっています。このように冬木学園が発展してこれたのも、卒業生や保護者をはじめ学園を支えてくださるみなさまのおかげと厚く御礼申し上げます。

これからも学園の評価を更に高め、社会のニーズに応えるためには、教育・研究活動の充実や学生・生徒への奨学金制度の充実など、より多くの資金が必要になってまいります。つきましては、本学園の建学の精神に賛同しご協力頂ける皆様方に寄付金を募集させて頂きたくご案内申し上げます。

### ◎ 寄付のお申込方法

法人事務局総務部にお問い合わせ下さい。

TEL：0745-54-1603 E-mail：houjin@kio.ac.jp

### ◎ 寄付金の控除

冬木学園は特定公益増進法人に指定されていますので、個人の皆様からのご寄付については、寄付金から5千円を差し引いた金額が所得額から控除できます(所得の40%以内)。